

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	チーム医療実証事業	担当部局庁	医政局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度限り	担当課室	医事課	課長:田原克志			
会計区分	一般会計	施策名	IV-1-1 地域の医療連携体制を構築する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	「チーム医療の推進について」(平成22年3月19日 チーム医療の推進に関する検討会取りまとめ)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	看護師、薬剤師等医療関係職種の活用の推進や役割の拡大によりチーム医療を推進し、各職種の業務の効率化・負担軽減等を図るとともに、質の高い医療サービスを実現するため、チーム医療の安全性や効果の実証を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○「チーム医療推進のための基本的な考え方と実践的事例集」(平成23年6月チーム医療推進会議取りまとめ)に基づく取組について、実際の医療現場において、① 医師・歯科医師、看護師、薬剤師、管理栄養士等の業務の安全性、② 疾病の早期発見・回復促進、③ 重症化等の予防、④ 医師等の業務の効率化、⑤ 医師等の業務負担の軽減などの安全性・効果等を実証を行う。 ○特定看護師(仮称)等、看護師の業務範囲の拡大を検討するため、医療現場等における業務の効果、安全性、他職種からの評価等を実証を行う。 (委託先) 病院、訪問看護ステーション等						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	予算の状況	当初予算			365		
		補正予算					
		繰越し等					
		計			365		
	執行額			328			
執行率(%)			89.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	医療施設従事医師数 平成18年:263,540人、平成20年:271,897人 (103.2%) ※医師・歯科医師・薬剤師調査より(2年ごと)	成果実績	人	-	280,431	-	前回調査以上
		達成度	%	-	103.1	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業実施施設	活動実績 (当初見込み)	施設数	-	-	68	-
単位当たりコスト	482(千円/1施設あたり)	算出根拠	平成23年度予算/平成23年度活動施設数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				
	計	-	-				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・医療の効率性、安全性に資する事業であり優先度が高い事業である。 ・効果的、効率的に行うには国で実施すべき事業である。 ・概ね見込みどおりの執行を行った。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・公募を行い、事業目的を適正に実施できる事業者を選定した。 ・事業目的に則したもののみに支出を行った。 ・内容を精査し、合理的であり、かつ必要なものに限定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・実施目的に沿って選定した事業者のみが行っており、実行性の高い手段となっている。 ・適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上している。 ・事業者から適正な報告があり十分な成果も得られている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度の単年度の予算であり、執行率も概ね90%となっており、予算規模としても妥当である。		
予算監視・効率化チームの所見			
-			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新23-0069

厚生労働省
328百万円

(看護師、薬剤師等医療関係職種の活用の推進や役割の拡大によりチーム医療を推進し、各職種の業務効率化・負担軽減等を図るとともに、質の高い医療サービスを実現するため、チーム医療の安全性や効果の実証を行うための



【補助】

A. 医療機関(90)
328百万円

{ チーム医療の安全性や効果の実証を行う。 }

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.厚生年金事業振興団大阪厚生年金病院			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	給料等	9			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	厚生年金事業振興団大阪厚生年金病院	チーム医療の安全性や効果の実証	9		
2	国立大学法人東北大学	チーム医療の安全性や効果の実証	5		
3	医療法人鉄蕉会	チーム医療の安全性や効果の実証	5		
4	国立大学法人岡山大学	チーム医療の安全性や効果の実証	5		
5	国立大学法人筑波大学	チーム医療の安全性や効果の実証	5		
6	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	チーム医療の安全性や効果の実証	5		
7	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター	チーム医療の安全性や効果の実証	5		
8	学校法人東邦大学	チーム医療の安全性や効果の実証	5		
9	医療法人静和会	チーム医療の安全性や効果の実証	5		
10	日本赤十字社	チーム医療の安全性や効果の実証	5		